

赤い羽根共同募金助成金事業 後援:調布市

主催:NPO 法人 調布心身障害児・者 親の会

協力:調布市子ども発達センター 調布市障害者地域生活・就労支援センター「ちょうふだぞう」

障害児・者とその家族支援に関わるすべての方、必見です。

しょうがいを持つ子と「家族」の発達支援

～ゴールのない“障害受容”を支えるものとは～

講師:立正大学心理学部教授 中田洋二郎先生

体験談ゲスト 田中けい子氏(調布市障害福祉課課長、元調布市子ども発達センター長)
玉田洋子氏(調布市立八雲台小学校 わかあゆ学級講師・元主任教諭)
円館玲子氏(調布市障害者地域生活・就労支援センター「ちょうふだぞう」職員)
「調布心身障害児・者 親の会」のお母さん



日時 2013年7月7日(日) 13:30～16:30

会場 調布市文化会館たづくり 8階 映像シアター

◆参加費…500 円(資料代として) 親の会会員は無料 定員 80 名

障害児を持つ親の心の中には、「子どもの障害を肯定的に受け止める気持ち」と「否定的に考える気持ち」相反する感情が常に同居しており、障害受容にゴールはない、と言われます。子どもの成長の節目節目で訪れる「障害受容の危機」を支える、支援者や保護者同士のつながりの大切さについて、調布の保護者や支援者の方々の体験談も交えながら一緒に考えていきたいと思っています。

《中田 洋二郎先生 ご紹介》 早稲田大学大学院文学研究科修士課程(心理学)修了。臨床心理士。国立精神保健研究所 児童・思春期精神保健部思春期精神保健研究室室長、福島大学大学院教育学研究科教授を経て、現職。専門は発達臨床心理学、障害のある子どもとその家族の支援。主な著書に、「発達障害と家族支援 家族にとっての障害とはなにか」(学研)、「子どもの障害をどう受容するか」(大月書店)、「AD/HDのペアレント・トレーニングガイドブック」(共著)(じほう社)、他、多数。

プログラム

第一部 主催者あいさつ

調布の先輩お母さんと支援者の体験談

- ・あゆみ学園(現調布市子ども発達センター)で得たもの
- ・学齢期の支援で大切なこと
- ・就労後の支援
- ・「親の会」の役割

第二部 中田洋二郎先生講演「これからの子どもと家族の発達支援とは」



事前に申し込みをお願いします。(先着 80 名) 締め切り 6月22日(金)詳細裏面

◆申し込み方法

下に記入してFAXするか、同じ内容をEmailにてご連絡ください。

主催：NPO法人調布心身障害児・者 親の会

問い合わせ、お申込み e-mail : minasapo2011@yahoo.co.jp 雨下 FAX:042-490-7307 徳田

「NPO 法人 調布心身障害児・者 親の会」とは

私たち親の会は、昭和 43 年、母親 16 人が集まって、“子どもの発達に遅れや偏りがあっても、地域で生き生きと育てていきたい”という願いで始まった会です。その活動と願いは、『あゆみ教室』から『あゆみ学園』へ、そして現在の『調布市子ども発達センター』へと繋がっていきました。

私たちは障害種別や程度に関わらず、理解し、助け合い、誰もが自分らしく、共に生きることを願い、活動を続けています。調布にお住いの方はもちろん、他地域の方でもどなたでも入会できます。

親の会のホームページができました！ <http://chofuoyanokai.com/>

7月7日中田洋二郎先生講演会「しょうがいを持つ子と家族の発達支援」FAX申込書

FAX:042-490-7307 徳田

e-mail : minasapo2011@yahoo.co.jp 雨下

定員オーバーで受付できない場合はご連絡を差し上げます。必ずご連絡先をご記入ください。

* 以下の内容を、お差し支えない範囲でお知らせください。(いただいた情報は、今回の参加者把握以外の目的には使用いたしません)

また、当日、話に出た個人情報についても、その場限りのものとして他で口外しないことを、お互いに約束したいと思います。

参加される方のお名前 ふりがな

お子さんの年齢： 歳

(子ども発達センター・幼稚園保育園等、小学校、中学校、その他)

NPO 法人調布心身障害児・者親の会の ①会員 ②非会員 (どちらかに○を)

申し込み受付の確認連絡 ①要 ②不要

※連絡不要の場合も、定員オーバーで受付できない場合、変更等が生じた際のために下の連絡先は必ずご記入ください。

当日連絡のつく電話番号：

メールアドレス：

(親の会の「非会員」の方へ) この講演会をどこで知りましたか？

当日話題にしてほしいこと、先生への質問など：

お子さんをお連れになる予定はありますか？ ある (歳) (歳) ない